

更新

SDGs達成に向けた取組みチェックリスト 事業者名: 九州柳河精機株式会社

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的な取組みを記載のうえ、提出してください。

(様式第2号)

チャレンジ項目記入数 18

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																	
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
組織・公正な取引	1	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内で共有、実践している。	●		経営理念や経営目標の共有は勿論、社の方針を基に期毎に各部・各課単位で課題を落とし込み共有し解決に向けた取組を実践しています。また、企業としての社会的責任を果たすため、「わたしたちの行動規範」をとりまとめ、従業員一人ひとりが「わたしたちの行動規範」を共有し、お客様と社会からの信頼をより確かなものとして、「お客様にとって必要な企業」となるための取り組みを実践しています。									8	9							17	
	2	【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している。	●		「わたしたちの行動規範」の項目「コンプライアンス」内に遵法精神の高い企業であるためにわたくしたちは、社会の一員として、法律を誠実に遵守します。とし、(1)法律遵守(2)社内規則の遵守(3)社会規範の遵守を明示しています。																16		
	3	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している。	●		「わたしたちの行動規範」の項目「取引」内に、取引先と公正で健全な関係を保つためにわたくしたちは、公正で健全な取引を行うことを宣言し、周知徹底を行っています。											10						16	
	4	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当や専門部署などの体制を整備している。	●		責任及び権限要領を定め、経営者以下の職務を明確にし組織体制を構築・整備し運営しています。																	16	
	5	【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる。	●		自社開発部品の特許申請・商標登録することで保護に取り組んでいます。									8.2 8.3	9								16
	6	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している。	●		「わたしたちの行動規範」の項目「プライバシー保護」内に、個人のプライバシーを尊重する企業であるためにわたくしたちは、プライバシーの保護に最大限の努力をします。と宣言し情報の管理徹底を行っています。																	16	
	7	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー(※)との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している。(※利害関係者:消費者、投資家等及び社会全体)	●		「わたしたちの行動規範」の項目「コミュニケーション」内に、お客様、取引先、株主、投資家、地域社会などのステークホルダーと適切なコミュニケーションを図るとともに、社内での円滑なコミュニケーションの促進を図ります。と宣言し誠実に対応しています。																16	17	
	8	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応(ハラスマント・汚職・贈収賄防止)について認識を共有し、共に取り組んでいる。	●		「わたしたちの行動規範」の項目「取引」内に、①取引に関係する法令(独禁法や下法)・社内規則を遵守します。②取引との間で、社会通念を超える贈与及び接待を受けたり行ったりしません。③職位や権限を利用し利害関係者から便宜を受けたり与えたりしません。と宣言し自由競争の下で取引先との信頼関係に基づく長期的かつ発展的な取引を目指しています。					5			8		10		12	13	14	15	16	17	
	9	【災害や事故への備え】 ・地震や水害などの自然災害や事故などに備え事業継続計画(BCP)を策定し、訓練や見直しを行っている。	●		BCPを策定し、就業時間内外の自然災害発生に向けた準備として、令和4年に新たに防災倉庫を整備しています。防災管理委員会による災害を想定した避難訓練は、1回/年実施しています。尚、就業中の被災については周辺地域のハザードマップを常にアップグレードし、危険がない場合にのみ帰社を認めるなどの基準を設けています。									9		11		13.1			16	17	
	10	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	●		・階層別教育プログラムを作成し後継者の指導・育成に取り組んでいます。								8	9									17
	11	【公正な貿易】 ・フェアトレード商品の調達に取り組んでいる。	●			1	2			5			8				12	13	14	15	16	17	
労働・人権	12	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出自などによる差別や各種ハラスマントを防ぐ体制が整備され、社内で差別や人権侵害がないことを確認している。	●		「わたしたちの行動規範」の項目「差別」内に、差別のない公平な企業であるためにわたくしたちは、世界中の人々とお互いの個性や違いを積極的に認め合い、一人ひとりが平等であるという考え方の下に行動します。と宣言しています。また、ハラスマント防止規程を2017年4月に制定し運用継続中です。			4.3 4.4 4.5	5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3							16.1 16.2 16.7		
	13	【労働安全衛生】 ・業務中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる。	●		「わたしたちの行動規範」の項目「安全衛生」内に、全ての人々が安全で快適に過ごすためにわたくしたちは、安全で衛生的な環境作りに努めます。と宣言し取り組んでいます。また、安全衛生委員会の定例開催だけでなく、全社で「無事故・無災害コンペ」を実施し、職場単位の小集団活動の中で、ヒヤリハット提案を自主的に実施するなどの活動を行っております。優秀なチームに対しては年末に表彰を実施し安全衛生水準の継続的向上を推進しています。		3						8.8										
	14	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している。	●		企業内労働組合と包括労働協約を締結し、就業規則との整合を図っています。その他の有期雇用労働者等の労働条件については同一労働同一賃金の趣旨に基づき、2020年4月に改定が完了しすでに運用中です。					5.5			8.5		10.2 10.3								
	15	【ワークライフバランス】 ・働き方の見直し等により、過度な長時間労働を防止し、家庭と仕事の両立を図るためのワークライフバランスを推進している。	●		時間外労働及び休日出勤に関する労使協定書(36協定)で労務管理を推進しています。また、労使による年次有給休暇の取得目標を設定し、働く人の生活に合わせた休暇取得を推進しています。			3		5.5			8.5 8.8		10.3								
	16	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している。	●		人事制度上の各階層に応じた階層別教育プログラムを策定し実行しています。また、期毎に各部署立案の教育訓練計画を基に全体の計画を集約し全社教育訓練計画として、社としての進捗管理を行っています。			4		5.5			8	9									
	17	【健康経営】 ・従業員が心身ともに健康を維持できるよう対策を講じ、生産性の向上等に取り組んでいる。	●		定期及び特殊健康診断や特定保健指導により従業員の健康管理への意識啓発に取り組んでいます。また、ストレスチェック等従業員の心のケア等も定期的に実施しています。			3					8								17		
	18	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者等)が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる。	●		外国人の派遣労働者を受け入れています。ベトナム技能実習生は全員3号技能検定に合格しています。支援学校の職場実習受け入れを行っています。聴覚障がい者の採用に伴い、職場コミュニケーションを活性化するための手話教室を実施しています。			4.4	5.1 5.5			8.5		10.2 10.3							16.7		
	19	【新しい生活様式への対応】 ・新型コロナウイルスをはじめとする感染症対策としても有効なテレワークや時差出勤、ウェブ会議等を導入している。	●		感染症対策として食事利用時間の時間差設定、感染拡大防止対応へのルールを全従業員へ周知すると共に、WEB会議の推進等の対応に取り組んでいます。			3					8	9.1		11	12						
	20	【デジタルトランスフォーメーション(DX)の推進】 ・ICTやAIを活用したデジタル化やオンライン化等のDXの推進により業務の効率化やビジネスモデルの変革に取り組んでいる。	●		紙日報の電子化を推進して入力作業の削減、業務内容の分析までのスピードUP等、業務の効率化に取り組んでいます。								8	9.1		11	12						
	21	【プライト企業】 ・プライト企業に認定されている。	●		2018年度より「プライト企業」に認定後、2024年度に更新認定済です。			3	4				8	9		12							

更新

SDGs達成に向けた取組みチェックリスト 事業者名: 九州柳河精機株式会社

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的な取組みを記載のうえ、提出してください。

(様式第2号)

チャレンジ項目記入数 18

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
	22	【環境汚染予防】 ・廃棄物や有害化学物質の適切な管理、及び処理に取り組んでいる。	●		廃棄物処理法に基づき、処理委託契約を締結し処理を行っています。また、定期的に現地視察を行い適正な処理が行われているかの確認を行っています。マニフェストの発行管理を徹底し、種類毎に管理しています。水質、大気、土壤等関りのある項目に関して定期的に確認を行い、法や地域との協定内容を順守し、環境汚染防止に取り組んでいます。			3.9			6.3					11.6	12.4		14.1	15.1		
	23	【エネルギー】 ・電力やガソリンなど、自社のエネルギー使用量を把握し、その削減に取り組んでいる。	●		環境マネジメントプログラムにて電力をはじめ各燃料のそれぞれの発生量を半期毎に確認し、評価を行っています。重油エンジン式コンプレッサーをインバーター機能付き電気コンプレッサーに変更することでエネルギー使用の効率化に取り組んでいます。							7.3					13					
	24	【温暖化対策】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる。	●		温室効果ガスの抑制として、CO ₂ の削減目標を策定し、施策の立案、実行、評価を行うことでエネルギーの削減に繋げています。省エネ法に基づく事業者クラス分け評価制度で4年連続で最高評価のSクラスをいただいています。		2.4					7.2 7.3 7.a					12.4	13	14	15		
	25	【生物多様性】 ・自社活動が環境(生物多様性や生態系等)に悪影響を及ぼさないように配慮している。	●		環境にやさしい企業を目指し廃棄物の削減や環境基準を守る取り組みを行っています。						6.6								14	15		
	26	【効率的な資源利用】 ・ごみを減らし、資源を有効的に繰り返し使うため、発生抑制(リデュース)、再使用(リユース)、再生利用(リサイクル)に取り組んでいる。	●		廃棄物の削減目標を策定し、施策の立案、実行、評価を行うことで廃棄物の削減につなげています。								9.4				12.2 12.4 12.5		14.1	15		
	27	【水の管理】 ・熊本の水資源の質と量の保全に取り組んでいる。	●		公益財団法人くまもと地下水財団の賛助会員として長年、熊本地域の地下水保全に支援を行っております。全社の取組みとしては、節水を行い、地下水の保全に取り組んでいます。生活用水はもちろんのこと、生産を目的として使用する大量の工業用水も削減目標を定め、日常管理を徹底しています。		2.4					6.1 6.3 6.4 6.6 6.b				11.5		14.1 14.2 14.3	15		17	
環境	28	【環境に配慮した製品等】 ・環境に配慮した製品の購入や製品の開発・製造に取り組んでいる(グリーン購入、リサイクル製品認証等)。	●		リサイクル性の高いアルミを主な材料とし、ライフサイクルの視点を考慮した環境配慮型製品の開発に取り組んでいます。								9.4			12.4 12.5	13	14	15			
	29	【食品ロスの削減】 食品ロスの削減に取り組んでいる。	●		社員食堂ではライスの盛り付けロボットを導入し盛付量を自分で選択することで食べ残しによるフードロス削減に繋げています。また、地元食品会社と情報共有し規格外で販売できなく廃棄となってしまう食品を従業員へ無償提供することでフードロス削減に取り組んでいます。	1	2				6.4						12.3		14	15		17
	30	【緑の保全管理】 ・壁面緑化や植栽など緑の創出と保全、管理に取り組んでいる。	●		敷地内緑地等の維持管理に努め、定期的な涵養実施量の把握と報告も県に対し実施しています。											11.6 11.7		13.1 13.3		15		17
	31	【エネルギー効率の見直し・再生可能エネルギーの利用】 ・高効率機器の導入等によるエネルギー使用率の改善またはや再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる。	●		重油エンジン式コンプレッサーをインバーター機能付き電気コンプレッサーに変更することでエネルギー使用の効率化に取り組んでいます。							7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.5		13.1 13.3				
	32	【森林資源の循環利用に向けた取組み】 ・”伐って、使って、植えて、育てる”の持続的な森林利用への取組みを推進している。	●								6			9.4			11.3 11.4 11.5	12.2	13		15	
	33	【植林等の取組み】 ・植林等の森林整備活動に取り組んでいる。	●								6.1 6.3 6.6						11.3 11.4 11.5	12.2	13		15	
	34	【海洋ごみ】 ・環境中で分解しにくいプラスチックの使用削減等、海洋ごみ、海洋汚染の防止削減に貢献している。	●		廃プラスチックの有価壳却によるリサイクル化を進めています。												12.2 12.5		14			
	35	【環境に配慮した交通手段】 ・電車やバスなどの公共交通機関の利用や、電気自動車や水素自動車などの環境にやさしい自動車の使用を促進している。	●		郊外立地につき公共交通機関での通勤は厳しい為、社有車の更新タイミングにて順次エコカーの導入を進めています。							7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.2		13.1 13.3				
	36	【2050年CO ₂ 排出量実質ゼロへの取組み】 ・2050年CO ₂ 排出実質ゼロを目指し、計画的にCO ₂ 削減に取り組んでいる。	●		2050カーボンニュートラルに向けたロードマップを策定し、CO ₂ 排出実質ゼロに向けて推進しています。							7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.6 11.a	12.8	13			17.2	

更新

SDGs達成に向けた取組みチェックリスト 事業者名：九州柳河精機株式会社

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的な取組みを記載のうえ、提出してください。

(様式第2号)

チャレンジ項目記入数 18

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																	
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
製品・サービス	37	【製品・サービスの安全性と品質】 ・製品・サービスの安全性や品質を確保する仕組みを構築している。	●		当社は、品質マネジメントシステムの成果を上げる為、ISO9001の認証を取得(1997.12.19)し、その要求事項に従って必要なプロセス及び相互的なプロセスの繋がりを明確にした品質マネジメントを確立、実施しています。			3.9						9			12.4						
	38	【ユニバーサルデザイン】 ・障がい者、高齢者に特定せず、誰もが利用しやすいサービス提供や環境整備を行っている。	●		会社公共スペースの着脱式スロープ設置や階段への手すり設置、車いすでも使用できるトイレの設置を行っています。									9.1	10	11.7						17	
	39	【地域資源】 ・地産地消を推進し、熊本県産の原材料を優先的に使用している。	●		地元木材を利用したパレットを定期的に購入し使用しています。		2.3 2.4					7.3	8	9		11.a	12.3	13	14	15			17
	40	【木質化の取組み】 ・自社の執務室等の天井や床、壁等の内装や外壁等に木材を使用し、木質化を推進している。	●								7					12.2	13.1		15				
	41	【社会課題解決】 ・社会課題を解決するための製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる。	●		車やバイクへリサイクル性の高いアルミ部品への材料置換や、既存部品の更なる軽量化等の提案に積極的に取り組んでいます。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
	42	【攻めの農林水産業】 ・地域における産学官連携等による新たな品種開発を促進するなど、地域レベルで農林水産業の生産能力向上に取り組んでいる。	●				2.3 2.4							8.2	9.2 9.4		11.a	12.2		14	15		17
持続可能な社会・地方創生	43	【地域への参画】 ・自治活動や福祉活動、防災活動や寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる。	●		年2回の地域清掃ボランティア活動、社内献血活動に取り組んでいます。また、年1回弊社グランドにて「やながわ秋まつり」を実施し、菊池市へ寄贈品贈呈のほか、ステージイベントや出店を開いて地域住民の皆様に楽しんで頂いています。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
	44	【防災、減災、レジリエンス(自助)】 ・過去の地震や水害などの災害を教訓に、事業への被害を防止・軽減するため、ハザードマップを確認し、避難行動計画や事前防災対策を進めている。	●		2019年より危機管理委員会を発足し、有事の際の被害最小化活動を開始しました。想定されるリスクを予測し、有事に際して迅速に動いて被害を最小限に食い止める為の「リスクマネジメント」活動と共に、防災管理委員会での社内訓練も実施しています。				4								11.5		13.1			16	
	45	【防災、減災、レジリエンス(共助)】 ・地域防災の担い手としての認識を持ち、防災士、水防団員、救助救急等の必要な技能を持つ社員を育成したり、地域消防団の活動に参加している。	●		消防団活動など、地域貢献活動については公休制度を設けて活動を支援しています。また、防災訓練等にて消火訓練等も行い技能の習得に繋げています。	1.5		3	4							10.2	11.5		13.1			16	17
	46	【防災関連商品の開発・販売】 ・防災関連商品の開発・販売を促進している。	●												9		11	12	13.1				
	47	【SDGsの普及啓発】 ・環境問題や人権問題をはじめとした社会課題の解決に向け、SDGsの普及啓発や教育機会の提供を行っている。	●		各部署でSDGsの勉強会を実施しています。環境標語の社内募集・周知を行うことで環境意識の向上に繋げています。また、菊池郡同和問題に取り組む企業連絡協議会へ参画しており、同和問題に関連した就職差別がないよう啓発を実施しています。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
	48	【インターンシップ等の受入れ】 ・職場体験、インターンシップの受入れ、職場関連授業の実施など、地域の児童や学生に対し、職業の学びの場を提供している。	●		熊本県教育委員会と連携し、高校生の宿泊型インターンシップに取り組んでいます。また、障がい者の職場実習受け入れも積極的に実施しています。				4					8.6		10.2						17	
	49	【若者の地元定着等】 ・若者の県内就職を促進する取組みを行っている。	●		県内高校生の就職率UPの為、県やハローワーク、工業連合会等が主催するイベントに積極参加しています。また、県内各高校との情報交換を積極的に展開している事例としてWEBでの企業紹介等も実施しています。				4.4					8.5 8.6								17	
	50	【農林水産業の担い手確保】 ・子どもに対する農林水産業教育を行うなど、地域における農林水産業従事者の確保に取り組んでいる。	●			2		4.3 4.4 4.5						8.6		10.2		12	13	14	15		17

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的な取組みを記載のうえ、提出してください。